

芭蕉元禄事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成三十年三月度 入選句（投稿総数三千三百七十四句・一般投句数五百二十八句）

特選

ありたけの光をまとひ初蝶来 栃木県那須塩原市 垣内 孝雄

初蝶は春になって初めて見る蝶をいう。不意をつかれたような印象が春の訪れを感じさせる。まだ小寒く雲の多い日であったのだろう。弱々しくひらひらと舞う蝶が現れた。その一点に目が行き、そこだけが光を集めているように感じた。初蝶を見た感動、春への期待がよく伝わって来る。

登校の声早春を透けてくる 東京都世田谷区 関戸 信治

早春は春になつて間もない頃の気候をいう。気温はまだ低い、陽光は日々柔らかさを増し、草木の芽が大地から顔を出し始める。そんな気配の朝、子ども達の登校の声が聞こえて来た。元気な声である。姿は見えなかつたかもしれないが、透けるで子ども達の様子が分かる。早春の清々しさ、喜びが感じられる。

龍天に昇るや赤子立ち上がる 京都府京都市 八田 弥須子

「龍は春分にして天に昇り、秋分にして淵に入る」と中国の古書にある。春の活力、生命感溢れる季節を表す。赤子立ち上がる、というフレーズはこの季語の本意にぴったりである。赤子の生命力、成長が嬉しい。

秀逸

ぼつねんと絵画になれぬ冬林檎	埼玉県所沢市	獅子谷 雪
始業ベルおいてけぼりの雪だるま	大垣市	日比野 友子
立春や新車きらりと香を放つ	不破郡垂井町	西垣 和志
抽斗に出せぬ文あり春愁	岐阜市	島 めぐみ
紅き匂ひ白き香りの百梅園	大垣市	田口 貞善
髪切つて三月の風衿足に	大垣市	岡田 あや子
露座佛に傘さしかけて春時雨	不破郡垂井町	川瀬 慶泉
三月の水まだ重し鯉の黙	大垣市	田中 雅子
自転車の列を追ひ越す春の風	大垣市	高木 歌佐
古寺に英語のポスター春うらら	三重県津市	村山 好昭

入選

冬木立煙のごとく眠りけり
 味噌汁の変わらぬ味や寒和む
 薄氷にランドセルの輪覗き込む
 さざ波のよう香り来る春告草
 春風があやす水子の風車
 風光る土偶に陣痛ありやなし
 春寒や一人を降ろす路線バス
 寒の月残し終バス発ちにけり
 伊吹嶺の影を乱さず浮寝鳥
 毛氈の皺伸ばしつつ雛飾る

福井県敦賀市 山田 美千代
 大垣市 安田 むつ子
 大垣市 野村 みち代
 大垣市 岩永 フチ子
 大垣市 棚橋 みさを
 大垣市 伊藤 英司
 養老郡養老町 田中 秀草
 大垣市 日比野 友子
 大垣市 伊藤 有紀
 揖斐郡池田町 木塚 しょう

入選

豆まきの声もちいさく老夫婦
 遠き日の話ばかりや日向ぼこ
 川に色生まれ俄に百千鳥
 夕時雨祇園の露地の片泊り
 春霞 白線 天に続きをり
 くぐり戸の半開きなり寒椿
 雛壇を少し陣取るランドセル
 立春の淡きひかりを写経台
 麗らかや上着を枝にほまち畑
 犬ふぐりここにも自動販売機

大垣市 娑婆だ婆婆
 大垣市 堀 悦子
 岐阜市 伊藤 瑞実
 千葉県印旛郡 寺嶋 和江
 京都府宇治市 杉本 年雄
 大垣市 鶴田 信子
 大垣市 早崎 美弥子
 不破郡垂井町 清水 るり
 大垣市 森川 きよ子
 神奈川県川崎市 佐藤 廣枝

選者吟

うぐひすの声が褒美の庭掃除

武直